

起業型 地域おこし協力隊 5期生募集

奈良県曽爾村

年間40万人の観光客が訪れるこの村で、

ゼロからイチを創る。

奈良県曽爾村（そにむら）では、自身のアイデアに基づいて
最大3年間活動し、4年目以降から「自立以上」の新たなビジネスの確立を目指す
「起業型地域おこし協力隊」の5期生を募集します。

応募の流れ

01 オンライン説明会

募集の概要・現地説明会の詳細や
選考フローについてご案内します。
まずはお気軽にご参加ください。

- ① 7月29日（水） ④ 10月15日（木）
② 8月29日（土） ⑤ 11月7日（土）
③ 9月15日（火）
※各日の開催時間は【20:00～21:00】

任意参加

詳細・お申し込みは
こちら



02 現地説明会

村内事業者等との意見交換会をもとに
曽爾村への理解を深め、アイデアピッチを通して
自身の事業プランを磨き上げていただきます。

【2日間】
12月12日（土）12:00から
12月13日（日）17:00まで



原則参加

詳細・お申し込みは
こちら

03 応募締切 1月5日（火）17:00

04 選考会 1月17日（日）

05 活動開始 4月1日（木）

募集ページ
は **コチラ**



詳細については
裏面をご覧ください



そにむら

奈良県曽爾村

曽爾村は、奈良県の東北端に位置する小さな村です。

「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、初夏に舞う蛍や、満点の星空、金色に輝くススキの大海原など、豊かな自然が織りなす圧巻の風景が、日々の暮らしを彩ります。年間約40万人の観光客が訪れる曽爾高原などの地域資源や、大阪・名古屋など都市圏からのアクセスの良さなど、中山間地域では珍しい条件の良さが特徴です。



現在、3名の起業型地域おこし協力隊が活動中！！



福永 裕揮
(3年目)

『学び舎 大地』として農的な暮らしが体験できる拠点作りを行っています。



脇田 大輔
(3年目)

MOLE FARMと言う農園名でフィンガーライム＆林檎を中心に福祉を絡めた事業展開に励んでいます。



北場 広治
(1年目)

日本各地の酒蔵にて研鑽を積んだ経験を活かし、曽爾の米・水・風土を活かしたどぶろく造りを目指しています。

求める人物像

- ・ 曽爾村を拠点に起業して、事業の自立以上を目指す方
- ・ 自ら行動し、挑戦を重ね続ける覚悟のある方
- ・ 事業の自立以上を目指す、事業プランの仮説をお持ちの方
- ・ 曽爾村のリソース（人および環境）を活用し、曽爾村に新たな価値を創り出す事業に取り組まれる方
- ・ 総務省が規定する都市地域に居住されていて、2027年4月から曽爾村に移住できる方

活動条件（予定）

- ・ 活動期間：最長3年
- ・ 報償月額：29.1万円
(年間約350万円)
- ・ 活動費：年間100万円
- ・ 起業の際の補助：100万円
- ・ その他：副業OK

まずはオンライン説明会・現地説明会へお気軽にご参加ください